

業界トピックス

【製造業】

- ・雇用状況(不安を感じているようで、人の入れ替わりが激しい)【ダンボール製函製造】
- ・震災後急激に受注が落ち込み、最近になって少しずつ回復傾向にあるが、まだ具体的な受注にはつながりにくく、早く(景気が)良くなってくれば。【分電盤、制御盤設計・製造】
- ・輸出関連の業務において、円高や放射能等の問題が想定外の打撃を受けている。従業員も休みを増やしている状況。【廃プラスチックリサイクル加工】
- ・震災、円高の影響で国内の製造業界があえいでいる。大手企業の国内生産縮小もあり、中小企業は厳しい状況。【プレス機械製造・修理】
- ・円高により、顧客企業の海外生産移行に拍車がかかっている。【金属表面処理】
- ・受注減。【製本】
- ・中国の価格水準を要求されることが多い。自社では不可能のため、中国への発注をするように言っている。円高や税金の面で、日本の加工業の減少は止むを得ないと思う。【金属機械加工】
- ・円高による輸出の減少。【パレット、輸出用台板箱製造】
- ・新規開発の大幅減少、製造受注の大幅減少。国内全体が経済面で萎縮した感じ。【電子回路基盤製造】
- ・経済の閉塞感あり。【酒類製造】
- ・予算の減少、企業の不況等で景気の回復が停滞してしまっている。しかし自社が元気を出して実践していかなければならず、努力をしていきたい。【印刷】
- ・不況により顧客の設備投資が消極的。【光源装置製造】
- ・円高で半導体部品の売上が激減している。【半導体、真空ポンプ製造】
- ・円高、製造業の(国内)空洞化【機械装置製造】
- ・貴金属価格の上昇による製品単価の変化が、今後の当社に与える影響が大きいと感じている。【化学薬品開発・製造】
- ・円高による受注減。【光学機器】
- ・早期の景気対策が必要。【超音波自動洗浄装置】
- ・異常な円高による海外受注の落込み。【自動包装機、金属探知機等】
- ・大手取引先のリストラにより受注減。先行き不安あり。円高対策を政治に期待。【光学ガラス部品加工】
- ・景気の低迷。震災後の個人消費の低迷。【ガラス原材料】

【建設業】

- ・収益の低下、仕入単価の上昇。【タイル工事】
- ・受注単価が最低水準。【電気設備工事】
- ・公共工事、民間工事ともに受注金額が安すぎて、年々赤字が大きくなっていく。事故が増える要因にも。【造園工事、土木工事】
- ・受注単価がさらに下がり、収益率が悪化。【電気工事】
- ・受注単価の下落。離職者増。【建築工事】

【小売・卸売業】

- ・地金相場の上昇による仕入価格の増加。一時的に資金繰りが悪化。【地金、貴金属】
- ・不要なものは買わないという消費者の風潮が強い。【障子、ポスター】
- ・資金力で大手に劣る中小企業には厳しい状況。【木材】
- ・得意先が保有在庫量を減らすために、都度仕入が多く、手間がかかる割には売上が伸びていない感がある。【医療品】
- ・8月期においては、販売の需要があったように感じる。(消費者の購買意欲の時期ズレを感じる。)(中古車)
- ・客単価の減少は感じられない反面、店舗前の人通り、来客数の減少は売上に大きく影響している。【呉服】
- ・最近の消費者は、家庭で料理をする回数・量が減少している。【肉類、惣菜】
- ・消費者の買い控えが大きい。【パン類】
- ・チェーン店、大型店の進出により来客数が減少。【自転車、バイク】
- ・震災後、消費者が買い控えをする傾向にあり、特に高額商品の売れ行きが低迷している。【陶磁器類】
- ・売上不振、受注単価・販売価格の低下、収益率の低下がまだ継続しそう。【金物類】
- ・売場面積が縮小され、来客数の減少が見込まれるため、法人顧客獲得に向けて積極的に動きたい。【園芸用品・生花】
- ・個人消費の低迷。【衣料品】

【飲食・サービス業】

- ・国内産業の円高、電力不足による空洞化、雇用の悪化。【ソフトウェア開発】
- ・新規取引先の開拓が難しい。総合的に需要が減少、売上が伸びない。【梱包】
- ・ネット販売への移行が進んでいるので、戦略の見直しが必要。【不動産】
- ・震災による停電や、電力使用制限により開発業務がストップし売上減。下期予測としては、少しずつ回復するのではと見ている。【ソフトウェア開発】
- ・人員募集をしても反応が少ない。【リネンサプライ業】
- ・海外進出や、新しい技術を積極的に取り込んでいる企業は元気がある。【コンサルティング】
- ・発注者から高い品質を要求されるものの、価格は据え置かれる。【地質調査】
- ・円高による不景気。(企業および個人消費の落込み)【日本料理店】
- ・新規参入を検討している分野の門戸があまりにも小さい。どの企業も今の自分達の仕事を守ることで精一杯で、新しい事業を展開する余裕がない。【機械設計、開発】
- ・震災以後、仕事量自体は徐々に増加傾向にあるが、日ごとの受注の偏りが大きい。また、全体的に受注単価の低下が目立つ。【軽貨物運送業】
- ・特に運転手の雇用ができなくなってきたり人手不足。若年層の免許取得や車に対する考え方が変わってきているのを感じる。【廃棄物処理業】
- ・全体的に消費が落ち込んでいるのを感じる。マイナス分は定休日を減らして対応し、前年度を上回ることができた。【ラーメン店】